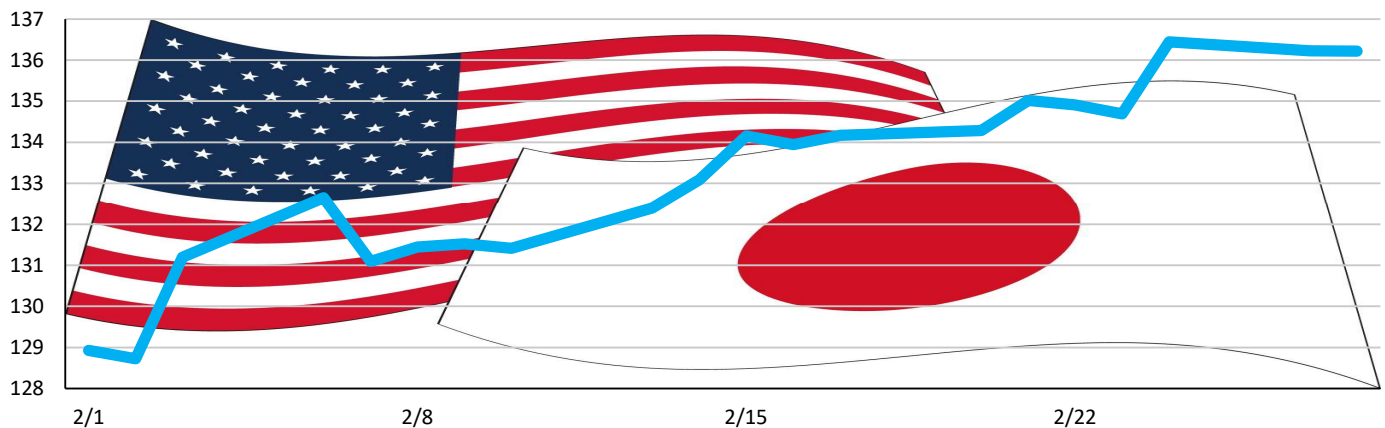


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り：**2月のドル円相場は128円前半～136円後半で推移。月初の米FOMC後にドル円は128円台まで円高が進んだ。その後、米雇用統計が市場予想を上回ったことでドル買いが進み132円台となったが、日銀新総裁に元日銀審議委員の植田和男氏の起用が報じられると、サプライズ人事と受け止められリスク回避が進み一時130円を割り込んだ。しかし植田氏が審議委員時代にゼロ金利政策を支えた人物ということが伝わると、金融政策に変更はないとの見方が広がったことや、良好な米経済指標発表に支えられ135円台となったが、植田日銀新総裁候補の国会所信表明を見極める動きから一時134円前半まで急落する場面も見られた。しかし現在の金融政策継続を示唆したことで安心感が広がり、136円後半まで円安ドル高が進んだ。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



## EXTRA VISION

**今後の展開：**日銀が金融緩和政策継続姿勢を崩さず、植田次期日銀総裁も同様の見解を示唆していることに加え、米国の各経済指標発表が市場予想を上回っており、ドル円は底堅く推移していきそう。しかし米FOMCを控えていることを踏まえると、今後の米経済指標発表内容次第で乱高下する展開も予想されるため、ポジションの構築には細心の注意を払っておきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
3 / 16 (木)	22 : 15	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
3 / 23 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
3 / 30 (木)	21 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
4 / 3 (月)	8 : 50	JP	日銀短観	☆☆☆☆
4 / 7 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
4 / 12 (水)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
4 / 14 (金)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。